

平成 27 年版

将棋年鑑

豪華巻頭特集！

1. 羽生善治1300勝の軌跡
2. 糸谷哲郎竜王囲シングインタビュー
3. 田中寅彦・先崎学が振り返るこの1年
4. 森下卓が電王戦を語る
5. 上野裕和の最新将棋事情

2015

将棋界の1年が
この1冊に

永久保存版

完全収録

- ・タイトル戦
- ・竜王戦決勝トーナメント+1組
- ・A級順位戦
- ・王将リーグ

平成27年版 将棋年鑑2015 目次

巻頭特集

特集①羽生善治1300勝の軌跡	28
特集②糸谷哲郎竜王ロングインタビュー	32
特集③田中寅彦・先崎学が振り返るこの1年	38
特集④森下卓が電王戦を語る	46
特集⑤上野裕和の最新将棋事情	60
個人成績	77
〈棋戦別棋譜索引〉	82
〈戦型別棋譜索引〉	84
プロ棋戦	86
竜王戦（第27期）	100
竜王戦ランキング戦（1組～6組）	102
名人戦（第73期）	152
A級順位戦	158
順位戦B級1組	187
順位戦B級2組	200
順位戦C級1組	213
順位戦C級2組	227

王位戦（第55期）	246
王座戦（第62期）	264

棋王戦（第40期）	278
王将戦（第64期）	292
棋聖戦（第85期）	32

朝日杯将棋オープン戦（第8回）	330
銀河戦（第22期）	340
NHK杯テレビ将棋トーナメント（第64回）	350

将棋日本シリーズJTプロ公式戦／テーブルマークこども大会（第35回）	362
新人王戦（第45期）	370
加古川青流戦（第4期）	382
富士通杯達人戦（第22回）	410

マイナビ女子オープン（第8期）	414
リコー杯女流王座戦（第4期）	426
ユニバーサル杯女流名人戦（第41期）	438
女流王位戦（第26期）	450
霧島酒造杯女流王将戦（第36期）	460
大山名人杯倉敷藤花戦（第22期）	468
白瀧あゆみ杯争奪新人登竜門戦（第8回）	476

アマ棋戦等

アマチュア竜王戦（第27回）	478
全日本アマチュア将棋名人戦（第68回）	482
全国高等学校将棋、竜王戦（第27回）	482
全国支部将棋名人戦（第44回）	486
全国支部将棋対抗戦（第44回）	486
全国シニア将棋名人戦（第22回）	488
全国アマチュア王将位大会（第31期）	489
朝日アマチュア将棋名人戦（第38回）	490
しんぶん赤旗全国囲碁・将棋大会（第51回）	492
全国高等学校将棋選手権大会（第50回）	493
全国中学生選抜将棋選手権大会（第35回）	493
中学生将棋名人戦（第39回）	493
文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦（第10回）	494
小学館・集英社杯小学生将棋名人戦（第40回）	494
大山名人杯争奪全国小学生倉敷王将戦（第13回）	495
大学将棋（平成26年度）	496
内閣総理大臣杯職域団体対抗将棋大会（第106・107回）	497
全国オール学生将棋選手権戦（第29回）	498
S R J・栄光ゼミナール杯女流アマ名人戦（第46期）	499
主要アマ棋戦	500
アマ棋譜解説	504
	508
	510
	514

名簿・棋士名鑑・コラム等

全棋士成績	78
竜王戦・順位戦データ集	144
順位戦昇級者一覧	244
昇級・昇段者一覧	368
日本将棋連盟の機構	390
日本将棋連盟支部名簿	392
将棋普及指導員連絡先一覧	394
大山康晴賞（第21回）	548
将棋優勝者一覧表	534
棋戦優勝者一覧表	628
対局日誌	631
広告索引	664
実戦終局の一手	653
相手玉には即詰みがあります。投了に追い込んだ次の一手を 考えてみてください（詰み筋は一つとは限りません）。	617
戦型別勝率	176
プロ棋士なんでもランキング	185
棋士名鑑アンケートクイズ	189
表紙写真／中野伴水	195
グラビア写真／大川慎太郎・金子光徳・中野伴水	224
写真提供／野間俊克（順位戦B級2組）・池田将之（順位戦B級2組、C級 1組）・内田晶（達人戦、アマ竜王戦、高校竜王戦）・君島俊介（倉敷藤花戦）・ 小島一宏（高校選手権、小学生倉敷王将戦）・中島一（中学生選抜選手権）	258
表紙／口絵レイアウト／山崎絵美	262
段位・肩書は当時のものです。	272
表紙／羽生善治名人	276
表紙写真／中野伴水	282
グラビア写真／大川慎太郎・金子光徳・中野伴水	286
写真提供／野間俊克（順位戦B級2組）・池田将之（順位戦B級2組、C級 1組）・内田晶（達人戦、アマ竜王戦、高校竜王戦）・君島俊介（倉敷藤花戦）・ 小島一宏（高校選手権、小学生倉敷王将戦）・中島一（中学生選抜選手権）	306
表紙／口絵レイアウト／山崎絵美	310



卷頭特集①

羽生善治 1300勝の軌跡

史上初の七冠達成、通算タイトル獲得91期、同一タイトル獲得22期など、数々の大記録を打ち立てながらまだ衰えを知らない羽生善治名人にまた新たな勲章が加わった。
平成26年11月20日、通算1300勝達成——。
驚くべきスピードで打ち立てられたこの大記録を機に、これまでの軌跡を振り返ってみたい。

1300勝達成者の通算成績

No	達成者	勝	負	持	対局数	勝率	達成時の年齢	プロ入り～達成
1	大山 康晴	1433	781	2	2216	0.647	62歳8カ月	45年7カ月
2	中原 誠	1308	782	3	2093	0.626	60歳0カ月	41年11カ月
3	加藤一二三	1317	1131	1	2449	0.538	71歳10カ月	57年3カ月
4	羽生 善治	1300	499	2	1801	0.723	44歳1カ月	28年11カ月

羽生善治年度別成績

※タイトル数は年度末のもの

年	年齢	勝数	負数	勝率	タイトル数
S60	15	8	2	0.800	
61	16	40	14	0.741	
62	17	50	11	0.820	
63	18	64	16	0.800	
H元	19	53	17	0.757	1
2	20	31	18	0.633	1
3	21	51	16	0.761	1
4	22	61	17	0.782	3
5	23	44	19	0.698	5
6	24	52	18	0.743	7
7	25	46	9	0.836	7
8	26	26	17	0.605	5
9	27	43	17	0.717	4
10	28	41	18	0.695	4
11	29	31	11	0.738	4
12	30	68	21	0.764	5
13	31	46	21	0.687	4
14	32	50	24	0.676	3
15	33	33	19	0.635	2
16	34	60	18	0.769	4
17	35	40	22	0.645	3
18	36	34	17	0.667	3
19	37	44	18	0.710	2
20	38	44	21	0.677	4
21	39	30	18	0.625	3
22	40	43	14	0.754	3
23	41	44	19	0.698	2
24	42	51	17	0.750	3
25	43	42	20	0.677	3
26	44	39	15	0.722	4

史上最速の大偉業

が短い。

他の3人が達成したのはかなり高

まず、上の表を見てほしい。これ

まで将棋の歴史の中で通算1300

勝を達成したのは4人しかいない。

大山、中原、加藤一、そして羽生だ。

ちなみに通算勝数5位は谷川浩司九

段で羽生の1300勝達成時は12

43勝となっている。

表を見れば分かる通りだが、羽生

はこれまで達成した3人の誰よりも

負数が少なく、対局数が少なく、勝

率が高く、達成時の年齢が若く、プロ

入りから達成までにかかった期間

限られた棋戦の中で年間45勝を達成するためには、挑戦者決定リーグ

や番勝負に絡む必要があり、その中で勝ち続けなければならない。

今年度、全プロ棋士の中で最も勝

率が高かったのは菅井竜也六段だが、

その菅井でさえ5年間で168勝、1年

平均では34勝にとどまっている。ち

なみに渡辺明棋王は15年間で501勝、

1年平均は33勝となっている。

平成27年現在、われわれは羽生善

治の打ち立てるであろう大記録の途

上にいる。次ページ以降で1300

勝までの軌跡を振り返っておきたい。

糸谷哲郎竜王 ロングインタビュー

今年の将棋界の最も大きなニュースといえば、糸谷哲郎新竜王の誕生だろう。『怪物』のニックネームの通り、大学院哲学専攻、ノータイム指し、対振り右玉、反則負けなどデビュー当時から規格外の話題を提供し続けてきた全く新しいタイプの棋士、糸谷哲郎。棋界最高位を手にした彼は今、何を思う？ 本音に迫るロングインタビュー。





将棋の魅力は勝負の結果がちゃんと出るところ

——まず、糸谷先生と将棋の出会いから教えてください。

「小学校に入る前、5歳の頃に覚えました。

父親にルールを教わったのですが、父はそれ

ほど強くなくて、すぐに相手にならなくなり

ました。それで道場に行き始めた、という具

合です」

——お父様の次が道場なんですね。何か将棋

にのめり込むきっかけのようなものはあったのですか？

「いや、特にありません。当時は将棋くらいしかゲームがありませんでしたし、勝負事が好きだったので、初めから将棋が面白いと思っていました。すんなり将棋の道に進んだように記憶しています」

——道場に通うようになればあとはすいすいと？

「そうですね、あとは転げるようになります」

——お父様の次が道場なんですね。何か将棋

は逆ですか（笑）

——なるほど。将棋のどこに魅力を感じますか？

「勝負の結果がちゃんと出るところです。しかもその結果が全て自分の責任であり、自分の成果である。そういうところが非常に好きですね」

——好きな将棋の格言は何ですか？

「一步千金です」

——好きな将棋の手筋は何ですか？

「玉の早逃げですかね」

一手損角換わりにに関しては最も詳しい人間でありたい

——糸谷先生といえば、ネット将棋で強くなつたということが知られていますが、多いと

きでどれくらい対局されたのですか？

「1日20～30局ですね。持ち時間1分、秒読み30秒の設定で」

——1日20～30局とはすごいですね。対局の他に詰将棋はどれくらい解かれたのですか？

「詰むや詰まざるや」をやつていて、詰将棋をたくさん解くということはしなかつたです

——そうなんですか、短手数の問題はあまりされなかつた？

「そうですね。難しい問題を時間をかけて解いていました。それ以外はひたすら実戦ですね。棋譜並べや定跡書での勉強もほとんどしなかつたです」

阪急阪神第一ホテルグループの
フラッグシップホテル



第一ホテル東京

◆東京駅、品川駅、羽田空港からも交通至便。
◆銀座へ徒步5～10分。

TEL.03-3501-4411(代表)

東京都港区新橋1-2-6
<http://www.daiichihotel-tokyo.com/>
JR・地下鉄「新橋駅」より地下歩道直結、徒步約2分

田中寅彦・先崎学が振り返るこの1年

羽生の棋聖防衛で始まり、糸谷竜王の誕生、郷田の王将初戴冠、最後は羽生の名人防衛で幕を閉じた今年のタイトル戦。

長く将棋界を見詰めてきた田中寅彦九段、先崎学九段の二人にこの1年を振り返っていただいた。



羽生世代は
集団で走っている

第85期棋聖戦（6月2日～7月5日）

羽生善治棋聖 ○○○3 防衛

森内俊之竜王

●●●0

棋聖戦はこの前に行われていた名人戦と同じカード、羽生—森内戦になりました。

田中「この二人は星が片寄る印象がありますね。名人戦の前までは森内さんに分があるようでしたが、名人戦を潮目にして一気に羽生さんに流れが傾いた感じです。森内さんは棋聖は取ったことがないので、勝ちたかつたでしょうが、名人戦からの連敗で調子を落としまったように見えました。しかし羽生さんと森内さんというのは同年代で長いことライバル関係を続けてますよね」

先崎「ライバルというか、もはや空気のような存在かもしれません」

田中「私自身が弱かつたこともありますが、私の世代では同年代でタイトルを争うようなライバル関係はなかつたですね」

先崎「羽生さんも森内さんもさすがにつらくなってきているんでしようけど、周囲も頑張っているから頑張れるというか、集団で走つ



今年のタイトル戦は羽生—森内のライバル対決で幕を開けた

田中「非常に手厚い将棋で、一番相手にしたくないタイプです。それに加えて対局相手のことをよく研究しているし、森内さんの隙が私には見えなかつたですね。ひどい目にたくさん遭わされて います。一度だけ助けてもらつたことがあつたかな、A級で（笑）。これは羽生さんにも言えることなんですが、私の最も得意とする形にしてくれるんです。この弱い私からも何かを吸収しようという姿勢がすごいなと思いましたね。だから今でもトップの座を維持で きているんでしょう」

——統いては王位戦です。第7局までもつれましたが羽生先生の防衛となりました。

田中「私は木村さんの将棋が、昔ながらの積み重ねていくような将棋でとても好きなんですが、このシリーズは残念でしたね」

先崎「これは木村さんが勝つべきシリーズだつたと思います。第1局で勝つて、第2局も勝ちそうで、第3局も優勢な将棋でした。ただ、あれを持将棋にされて流れが変わつてしまつたような気がします。あのとき羽生さん

ているような感覚があるんでしょうね。みんなで走つていれば疲れを忘れる、じゃないけど（笑）」

田中「先崎さんもその集団の一人じゃないですか」

先崎「私なんかもうくたびれちゃつて駄目ですよ」

田中「それでも今期順位戦で昇級するんだから、すごいですよ」

——その話は後ほど伺わせていただきます。

森内先生の強さは「体力に裏打ちされたぶれない強さ」と先崎先生はおつしやつていましたね。

先崎「はい。ただ、さすがに40代半ばになれば衰えてくるのはやむを得ないですから。森内さんはかなり体力のある40代半ばだと思いま

すけど、今回の3連敗という結果はそういうことが関係しているのかもしれません」

——田中先生から見て森内将棋はいかがでしようか？

あの持将棋の一局がキーだつた

第55期王位戦（7月8日～9月25日）

羽生善治王位 ●○持○○●○4 防衛
木村一基八段 ○●持●●○●2



森内は初の棋聖奪取ならず

卷頭特集④

森下卓が 電王戦を語る

株式会社ドワンゴが主催する

人間VSコンピュータの戦い・電王戦。

人間の意地か、コンピュータの進化か。

4回目となった今回も大きな注目が集まった。

誰も予想できなかった展開、

そして驚愕のラスト。

5局の死闘を前回の対局者である

森下卓九段が語った。



電王戦の「プレッシャー」

「電王戦ファイナル」と銘打たれた本大会。電王戦の出場経験者としてこのラストマッチを観た数少ない人間の一人として、まずは私自身のコンピュータ将棋の経験について語つておきたい。

私にとつてコンピュータ将棋といえば自分で購入してパソコンにインストールしていた市販の将棋ソフトだった。恐らくアマチュアの六段くらいの棋力だと思うが、これがビールを1、2杯飲んでストレス解消するのにちょうどいい棋力だった。その認識が一変したのが第1回電王戦が行われた年。米長会長（当時）に「一緒にコンピュータ対策をやつてくれ」と言われて出掛けていった。2012年の正月のことだ。

そこで貸し出されたソフトと初めて対戦したのだが、あまりの強さに驚いた。完敗だった。他の棋士が対局した棋譜も見たが、とにかく強い。特に定跡形からねじり合いの展開になると、手が付けられないほどの強さを發揮していた。

「こんなに強いのとやつて、申し訳ないんですが勝ち目があるとは思え

ないんですけど」と正直に米長会長にお話した。

2手目△6一玉の対策を研究して臨んだ米長会長だったが惜しくも敗れ、5対5の団体戦となつた第2回電王戦でもコンピュータの強さを見せつけられる結果になつた。

コンピュータ将棋の強さは身に染みて分かつており、第1回、第2回の電王戦に見てきた私がなぜ第3回電王戦に立候補したか？ それはたまには解説する側ではなく解説される側に回りたい、ということもあつたが、一番の理由は強いコンピュータと戦うことで、自分自身も鍛えられるのではないかと思ったからだ。

勝ち負けにはあまりこだわっていない盛り上がりを見せた。しかもプロ側の1勝2敗という状況で対局を迎えることになつた。ここで私が負ければ今回もプロ棋士の負けだ。

勝たなきやいけない――。

しかし、相手のツツカナは強かつた。矢倉でも対振り飛車でも勝率が非常に悪い。角交換振り飛車が勝ちやすいという情報を得て試してみた



【第1図は▲4四金まで】



【第2図は△9九香成まで】



が、決してそんなことはなかつた。

豊島—YSS戦が終わつて私が対

局するまでの1週間は本当にきつかつた。

「負けたらどうしよう」とこ

こまで真剣に思つたのはC級2組順

位戦の5期目のとき以来だ。

お酒とコーヒーを3年間断つので

どうか勝たせてくださいと将棋の神

様に祈つた。それほど覚悟で臨んだ一局だったが、ツツカナには勝てなかつた。

ツツカナの方が私より強かつた。

まともに戦つては プロ側の全敗だと思つた

私がコンピュータとの対局を重ねて思つたのは、コンピュータ相手に序、中盤で悪くなることは少ないと

いうこと。終盤の入り口を迎えたところでは8割方優勢、あるいは「指

せる」局面になつてゐる。それでも勝てないので、終盤力に関してはコンピュータの方がかなり上をいつて

いると認めざるを得ない。

私はツツカナの対局本番も客観的に見て私の方がやや指しやすい局面になつた。しかし手が萎縮したこともあり、結局「いつものように」ひっくり返されてしまつた。

ツツカナが▲4四金（第1図）と打つてきた場面。ここで私は△8五桂と跳ね、▲8八銀に△7五歩と読んでいたが、▲8六銀とされ予定がガラツと狂つてしまつた。

直前に8六から7七に引いたところだつたので、もう一度△8六銀と

上がる手が完全に思考のエアポケットに入つていた。

また、数手後△9九香成（第2図）

とした手では当然△9八香成としなければいけなかつた。9九では響きが薄すぎて論外だつた。9九では響き

頭にチラつき、これまでツツカナに

痛い目に遭わされてきた苦い経験も

頭にチラつき、これまでツツカナに

痛い目に遭わされてきた苦い経験も

後押しして、9八で香を止めることできなかつた。完全に私の心の弱さが出た一着だつた。

第1回の米長先生もそうだつたが、私も含め、プロ対コンピュータの対

局を観てみると、「いい将棋を逆転されてしまつた」展開が多いことに

気付く。

人間としては「序中盤の有利を保つたままいかに勝ち切れるか」が大きなポイントなのだが、それが非常に困難であることがコンピュータと戦つての偽らざる結論だつた。

今回の電王戦ファイナル、正直に言わせていただければ、誰が出てきても、まともに戦つてはプロ側の全敗だと思つていた。

私が戦つてからさらにコンピュータの棋力は上がつてゐるはずで、そもそも序、中盤で良くできるのかさえ分からぬ。良くできなければ勝てる可能性は皆無だ。

プロ側に勝機があるとしたら、コンピュータの穴を探し当てられたときだが、果たしてどうなるか――。

平成27年3月14日、人類VSコンピュータの最終決戦、電王戦ファイナルが始まつた。

上野裕和の最新将棋事情

～平成26年度を振り返る～

日進月歩で研究が進むプロの将棋。

中継を見てもなかなか理解できない、ということはよくあるのではないでしょうか。

そこで去年に引き続き、プロの最新形を上野裕和五段が分かりやすく解説。

なぜこの形になるのか、どうしてこの手が指されるのか、
など日々疑問に思っていることも、これを読めば大丈夫です!

居飛車編、概要

居飛車編、概要

今年度は矢倉と角換わり、そして

横歩取りにおいて、特に大きな進化が見られた。なお、居飛車編は戦法を五つに分け、以下の順に解説する。

① 矢倉

② 角換わり

③ 相掛かり

④ 一手損角換わり

⑤ 横歩取り

また、それぞれの項目の中でも、その戦型の基本的な概要と傾向を確認後、最新研究の紹介に入りたい。

ところが今年度に入り「そもそも先手は▲4六銀・3七桂型にすんなり組めるのか」という大きなテーマが現れたのである。

先手は▲4六銀に対してすぐ△4五歩と突き、▲3七銀と引かせることで先手の攻撃陣構築を阻止するのである。矢倉と言えば「▲3七銀戦法」が花形。第1図(→)のように組み、先手の攻め、後手の受けという構図で長らく指されていた。

矢倉

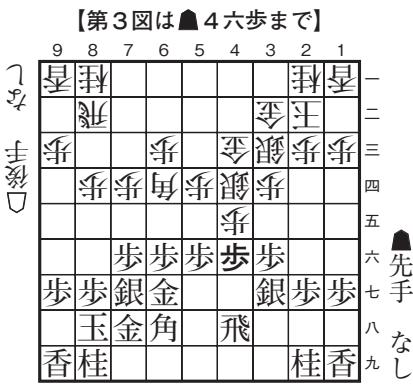
第2図(→)がそのテーマ図。
▲4六銀に対してすぐ△4五歩と突き、▲3七銀と引かせることで先手の攻撃陣構築を阻止するのである。

ただし、この△4五歩が攻めの目標になることもあり、長らく後手自信なしとみられていた。具体的には第2図以下▲3七銀△5三銀に

1、すぐ▲4六歩と突き返す
2、▲4八飛△4四銀右に▲4六歩

と突き返す(第3図←)

のどちらも△4五歩がマイナスになる、というのがプロの共通認識であつた。後手は位の確保ができないのである。



【第4図は△9五歩まで】



では、△4五歩反発が復活した理由は何か。その答えの一つが第4図（→日本シリーズ決勝・P363）にある。後手は前述のように△4四銀右と盛り上がるのではなく、早めに△9四歩と突いて9筋の端攻めを見せ、攻め合いの姿勢で戦うのである。

こうした、位の確保を重視しない新しい指し方や、その他幾つかの新発見も加えて△4五歩反発は復活した。

（なお、この将棋以降、先手は後手9筋突き越しを許さず、▲9六歩と受けようになつた）

③△4五歩反発（△9四歩）

④△4五歩反発（その他）

⑤藤井流早囲い

後手側の斬新な工夫をもう一つ挙げるなら第5図（→）のように△4四銀左と出る手である（王将戦第3人△渡辺明二冠戦・P295）。

△3の銀を中央に進出するのは珍しい。これは現在1～2筋から攻められる可能性が低く、△3の銀を残した方が勝るという考え方である。

この△4五歩反発の成否は矢倉のみならず、後手が2手目に△8四歩と突きやすくなるのか、先手が矢倉ではなく角換わりを志向するのか、などの話につながつており、居飛車全体において重要なテーマである。今後の研究が楽しみだ。

藤井流早囲いは第6図（→）のように玉を6八→7八のルートで囲う。そのため▲6八玉と上がる瞬間が悪型となり、そのタイミングを捉えて後手が△7五歩と突く対策がよく指されている。この瞬間なら▲4六角の反撃がなく、後手は安全に一歩交換が可能である。

藤井流早囲いは先手が早めに飛車先の歩を突くため、後手が阿久津流5筋急戦などの急戦を選択したときに一手早く攻撃できるメリットもあり、「後手急戦封じ」の側面も持ち合っている。

【第5図は△4四銀左まで】



この△4五歩反発の復活により、△4四歩反発の復活により、△3七銀戦法が減少したことと相まって今年度、特

戦法として認識されており、△4五歩反発の復活により、△3七銀戦法が減少したことと相まって今年度、特に研究が進んだ。

藤井流早囲いは先手は▲7六歩と穩やかな手は指さず、棒銀をさばくことを優先して戦うことになる。

【第6図は△7五歩まで】



藤井流早囲いは第6図（→）のように玉を6八→7八のルートで囲う。そのため▲6八玉と上がる瞬間が悪型となり、そのタイミングを捉えて後手が△7五歩と突く対策がよく指されている。この瞬間なら▲4六角の反撃がなく、後手は安全に一歩交換が可能である。

【第7図は▲2六銀まで】



なお、藤井流早囲いは先手が早めに飛車先の歩を突くため、後手が阿久津流5筋急戦などの急戦を選択したときに一手早く攻撃できるメリットもあり、「後手急戦封じ」の側面も持ち合っている。

第6図以降、先手は歩交換を甘受し、代償として素早く棒銀を繰り出す将棋（第7図→）が数局指されている。

A級順位戦▲森内俊之九段△深浦康市九段戦（P168）では、第7図以下△4六角▲同步△4三金右▲6八金上と進む。先手は▲7六歩と穩やかな手は指さず、棒銀をさばくことを優先して戦うことになる。



データで見る最新将棋事情

26年度の先手勝率は0・534

ここでは今年度の将棋をデータから分析してみたい。まず左の表を見てほしい。過去5年間の年度別の先手勝率を表したものだ。先手勝率はここ5年間5割3分前後で推移しており、今回もその中に収まった。

過去5年の平均手数も記載したが、こちらは110手から112手の範囲で驚くほど動いていない。

年度別データ

年度	対局数	先手勝率	平均手数
22年度	2703	0.536	110.8
23年度	2807	0.533	110.9
24年度	2893	0.524	111.5
25年度	2740	0.526	110.3
26年度	2920	0.534	112

先手勝率詳細

棋戦区分	先手勝率
男性棋戦	0.527
女流棋戦	0.576
タイトル戦	0.556
順位戦	0.507

棋戦区分別に先手勝率を見ると、男性棋戦は0.527、女流棋戦は0.576、タイトル戦は0.556、順位戦は0.507である。

高木来年以降の結果を見ないことに

はなんとも言えないところではある。タイトル戦においては先手勝率が平均より高くなっている。対局時間が長く、あらかじめ先後が決まってい

る順位戦は意外にも先手勝率が低い。かなり早い段階で先後が決定するため、むしろ後手の作戦が練りやすい、

ということなのかもしれない。

初手の割合と先手勝率

初手	採用率	先手勝率
▲7六歩	71.6%	0.531
▲2六歩	22.4%	0.554
▲5六歩	5.6%	0.497
それ以外	0.4%	0.417

【第3図は▲5六歩まで】



採用率：5.6%
先手勝率：0.497

【第2図は▲2六歩まで】



採用率：22.4%
先手勝率：0.554

女流の先手勝率が上昇

さて、次にその下の先手勝率詳細を見ていただきたい。

次に今年、初手にどんな手が指されたかを見てみよう。

最も多く指されたのは▲7六歩

(第1図)。▲2六歩(第2図)、▲5六歩(第3図)と続く。

勝率は▲2六歩が0・554と平均よりかなり高かった。過去3年

間で、初手▲2六歩は0・548、

勝率を挙げている。初手の最強手は

【第1図は▲7六歩まで】



採用率：71.6%
先手勝率：0.531

【居飛車の戦型別勝率】

矢倉と角換わりは大差

次に戦型別の先後勝率を調べていこう。まずは居飛車から。

■7六歩△8四歩■6八銀 (第4

図) は王道ともいえる矢倉の出だし

で、居飛車の中では最も多いスター

トなのだが、この形での先手勝率は

0・485。昨年が0・558だつ

たので、がくんと落ちた。上野裕和

五段の講座にある通り、△4五歩反

発型をはじめ、今年は矢倉の後手番

に画期的な進化が見られたというこ

とだろう。

これに大差をつけたのが■7六歩

△8四歩■2六歩 (第5図) の出だ

し。角換わりを志向する手順で、こ

のスタートだと先手勝率は0・62

と高かったのだが、さらにそれを上

回った。対局数も昨年の182局から244

局とかなり増えた。これだけ勝てれ

ば3手目■6八銀よりも■2六歩と

突きたくなるのもうなずける。

次は一手損角換わりの出だし。ま

ず、■7六歩△3四歩■2六歩△3

二金

とする形は22局指されたが、先手勝

率0・591と先手が勝っている。

4手目の△3二金のところで△8八

角成 (第7図)

とする形の方がよく

指されており、後手番としては第6

図の出だしそれよりも健闘しているが、

それでも先手勝率0・568。一手

損角換わりは後手が苦戦していると

言つて良さそうだ。

初手から■2六歩△8四歩■2五

歩 (第8図)

とする相掛かりは先手

の先手勝率は0・540となつた。

居飛車は矢倉以外はおおむね先手が

よく勝つていると言つていいだろう。



対局数: 342
先手勝率: 0.485



対局数: 244
先手勝率: 0.627



対局数: 146
先手勝率: 0.568



対局数: 22
先手勝率: 0.591



対局数: 337
先手勝率: 0.540



対局数: 98
先手勝率: 0.520

第8期 マイナビ女子オープン

株式会社マイナビ

五番勝負

加藤桃子 女王 ○○●○ 3防衛
上田初美 女流三段 ●●○● 1

加藤が上田を振り切り初防衛

人と、アマ3人が勝ち抜いた。鎌村アマはプロ5人に4勝を挙げた。

本戦出場12枠を争う一斎予選公開対局は、8月9日に各種イベントを併設して開催された。総来場者数は

第8期は6月22日のチャレンジマッチで開幕。プロ16人とアマ44人が11枠を争い、中井、山田久らプロ8

450人。元女王の甲斐、矢内、上田は順当に予選を通過したが、女流王将の香川は初戦で敗退。和田は奨励会の西山を破る殊勲の星で本戦入りを決めた。塚田アマは2期連続、今井アマは初の本戦出場。

本戦トーナメント開幕前に、前女王の里見が休場延長で不戦敗になる

残念なニュースがあった。一方で若手の活躍が明るい話題を提供した。本戦初出場の渡部が1回戦で清水を破り、同じく初出場の和田は長沢、斎田のベテランを連破し、さらに準決勝では矢内を倒して挑戦者決定戦に進出した。3月9日の挑決は、女王2期の上田が実力を示して和田を降し、女王への挑戦権を獲得した。

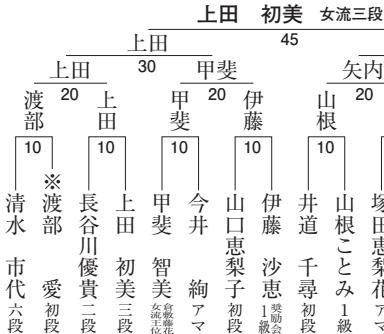
加藤と上田の五番勝負は4月7日に神奈川県・鶴巻温泉「元湯陣屋」で開幕。上田が意表の横歩取りでつたんは優位に立つたが、攻守が逆転すると加藤が一気に押し切った。4月18日の第2局は、加藤の出身地である静岡県牧之原市の「高尾山石雲院」で。上田の中飛車から激戦となり、加藤が秀逸な寄せの構想を

見せて連勝。5月7日の第3局は東京の「将棋会館」で。上田が四間飛車からの速攻で加藤の居飛車穴熊を攻略し、1勝を返した。

5月19日の第4局も「将棋会館」で。上田の向かい飛車から激しい攻め合いになり、加藤が難解な終盤戦で見事な収束を見せた。3勝1敗で初防衛を果たした加藤は「3連覇を目指す」と、力強く抱負を語った。

上田は随所に持ち味を發揮したが及ばなかつた。(週刊将棋 雨宮知典)

〈本戦トーナメント〉 優勝500万円／準優勝150万円
数字は勝星料(単位・万円)



加藤は女王初防衛を果たした

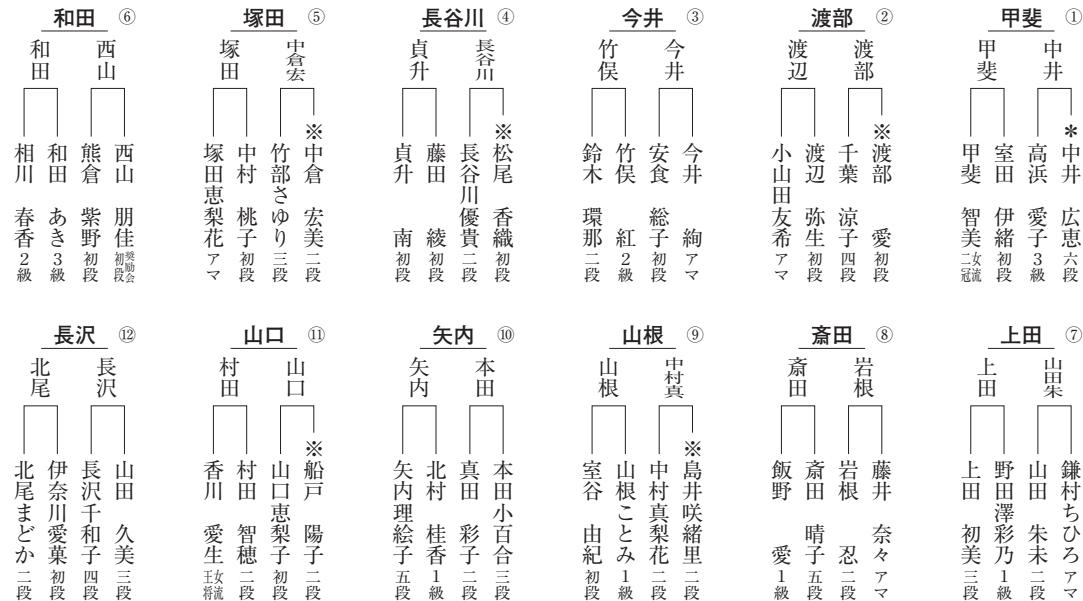


和田は挑決まで勝ち進み一気に初段に



一斎予選は8月9日に行われ、写真の12人が本戦進出を決めた

〈一斉予選〉



〈チャレンジマッチ〉スイス式トーナメント5回戦を行い、成績上位の11名（太字）が通過

	氏名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	勝敗		氏名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	勝敗
1	本田小百合	○ 31	○ 19	○ 14	○ 17	● 10	4 - 1	31	山田 美晴	● 1	● 49	○ 43	● 52	○ 48	2 - 3
2	高群佐知子	○ 32	● 20	○ 13	○ 16	● 9	3 - 2	32	浅野 法子	● 2	○ 50	○ 24	● 13	● 6	2 - 3
3	山田 久美	● 33	○ 41	○ 36	○ 22	○ 16	4 - 1	33	鎌村ちひろ	○ 3	○ 11	● 10	○ 14	○ 15	4 - 1
4	久津 知子	○ 34	○ 21	● 16	○ 23	● 17	3 - 2	34	諫訪 景子	● 4	● 51	○ 44	● 54	● 49	1 - 4
5	石高 澄恵	○ 35	○ 25	● 17	○ 26	● 18	3 - 2	35	八木 直子	● 5	● 55	● 45	● 43	● 41	0 - 5
6	植村 真理	● 36	○ 42	● 38	● 21	○ 32	2 - 3	36	頬本 奈菜	○ 6	● 12	● 3	○ 55	○ 58	3 - 2
7	島井咲緒里※	○ 37	○ 27	● 18	○ 25	○ 19	4 - 1	37	山下 実咲	● 7	● 57	● 47	● 44	□ 42	1 - 4
8	大庭 美樹※	● 38	○ 43	● 40	○ 48	○ 47	3 - 2	38	小高佐季子	○ 8	● 13	○ 6	● 15	● 14	2 - 3
9	渡部 愛※	○ 39	○ 28	○ 20	○ 18	○ 2	5 - 0	39	野原 未蘭	● 9	● 58	○ 50	● 56	● 55	1 - 4
10	中井 広恵*	○ 40	○ 30	○ 33	○ 53	○ 1	5 - 0	40	里見 咲紀	● 10	○ 60	○ 8	● 19	○ 22	3 - 2
11	中倉 宏美※	○ 41	● 33	○ 46	○ 27	○ 20	4 - 1	41	岩崎 奏子	● 11	● 3	● 60	● 50	○ 35	1 - 4
12	松尾 香織※	○ 42	○ 36	● 53	○ 30	○ 21	4 - 1	42	多々納 光	● 12	● 6	■ 29	■ 24	■ 37	0 - 5
13	船戸 陽子※	○ 43	○ 38	● 2	○ 32	○ 53	4 - 1	43	磯谷 真帆	● 13	● 8	● 31	○ 35	○ 50	2 - 3
14	中倉 彰子※	○ 44	○ 52	● 1	● 33	○ 38	3 - 2	44	目黒 彩夏	● 14	● 22	● 34	○ 37	○ 60	2 - 3
15	鹿野 圭生※	○ 45	● 53	○ 48	○ 38	● 33	3 - 2	45	阪本 葉	● 15	● 23	○ 35	● 58	● 24	1 - 4
16	蛸島 彰子※	○ 46	○ 54	○ 4	● 2	● 3	3 - 2	46	田中 沙紀	● 16	○ 24	● 11	● 59	○ 29	2 - 3
17	藤井 奈々	○ 47	○ 56	○ 5	● 1	○ 4	4 - 1	47	内免 梓	● 17	● 26	○ 37	○ 60	● 8	2 - 3
18	今井 紗	○ 48	○ 59	○ 7	● 9	○ 5	4 - 1	48	齋藤 理子	● 18	○ 29	● 15	● 8	● 31	1 - 4
19	中澤 沙耶	○ 49	● 1	○ 51	○ 40	● 7	3 - 2	49	須山 菜々	● 19	○ 31	● 22	● 28	○ 34	2 - 3
20	和田 はな	○ 50	○ 2	● 9	○ 57	● 11	3 - 2	50	加藤まどか	● 20	● 32	● 39	○ 41	● 43	1 - 4
21	畠中さゆり	○ 51	● 4	○ 52	○ 6	● 12	3 - 2	51	小野ゆかり	● 21	○ 34	● 19	○ 29	○ 23	3 - 2
22	高柳 理沙	● 52	○ 44	○ 49	● 3	● 40	2 - 3	52	宮澤 紗希	○ 22	● 14	● 21	○ 31	● 25	2 - 3
23	佐藤 陽香	● 53	○ 45	○ 54	● 4	● 51	2 - 3	53	田村真理子	○ 23	○ 15	○ 12	● 10	● 13	3 - 2
24	原田 知実	● 54	● 46	● 32	□ 42	○ 45	2 - 3	54	土居和歌南	○ 24	● 16	● 23	○ 34	● 26	2 - 3
25	森 美怜	○ 55	● 5	○ 56	● 7	○ 52	3 - 2	55	渡邊 早紀	● 25	○ 35	● 26	● 36	○ 39	2 - 3
26	永井さくら	● 56	○ 47	○ 55	● 5	○ 54	3 - 2	56	小澤 望	○ 26	● 17	● 25	○ 39	● 27	2 - 3
27	堀 彩乃	○ 57	● 7	○ 58	● 11	○ 56	3 - 2	57	小田切葉月	● 27	○ 37	○ 28	● 20	● 30	2 - 3
28	山口絵美菜	○ 58	● 9	● 57	○ 49	● 59	2 - 3	58	大城 千花	● 28	○ 39	● 27	○ 45	● 36	2 - 3
29	俵 玲来	● 59	● 48	□ 42	● 51	● 46	1 - 4	59	藤谷 薫子	○ 29	● 18	● 30	○ 46	○ 28	3 - 2
30	橋本智佳子	○ 60	● 10	○ 59	● 12	○ 57	3 - 2	60	鈴木 里沙	● 30	● 40	○ 41	● 47	● 44	1 - 4

*印はLPSA所属 *印はフリー棋士

第8期	マイナビ女子オープン	第1局
持ち時間	勝	▲女王 加藤
各3時間	△三段	上田 初美
平成27年4月7日	終了	16時32分
神奈川県鶴巻温泉「陣屋」		

横歩取り△8四飛

【第1図は△5二玉まで】



【第2図は△3五角まで】



【第3図は▲7七桂まで】



【第4図は1—馬まで】



No.447		第8期 マイナビ女子オープン 第1局	
持ち時間 各3時間		勝 ■女王 加藤 桃子	
平成27年4月7日 終了 16時32分 神奈川県鶴巻温泉「陣屋」		△三段 上田 初美	
G	△3五角角 (第2図)	△7銀 △1四歩 △1六歩 △2五歩 △1五歩 △同歩 △六飛	△5四歩 △2六歩 △2五歩 △1四歩 △1四歩 △同歩 △同歩
8八銀	△2五歩 △7三桂 (第3図)	△7五歩 △2四歩 △1五歩 △3六飛 △1六歩 △2五歩 △同歩	△7銀 △2六歩 △2五歩 △1四歩 △1四歩 △同歩 △同歩
E	△3四銀 (第4図)	△8四歩 △3四飛 △2三銀 △2八飛 △2三銀 △1五歩 △同歩	△2四角 △2六歩 △2五歩 △1六飛 △1六飛 △同歩 △同歩
F	△3同桂 (第4図)	△8七歩 △8四飛 △5八玉 △6二銀 △1六歩 △2五歩 △同歩	△3五角 △2六歩 △3六飛 △2六飛 △3六飛 △2六飛 △同歩
D	△2八飛 (第4図)	△8七歩 △8四飛 △5八玉 △6二銀 △1六歩 △2五歩 △同歩	△6六銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩 △同歩
B	△5二玉 (第1図)	△8五歩 △3同飛 (第1図) △2二銀 △3六飛 △8七歩 △3四飛 △5八玉 △6二銀 △1六歩 △2五歩 △同歩	△7銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩
C	△1金 (第1図)	△8四歩 △3同歩 (第1図) △2六飛 △3三角 △7八金 (第1図) △8六歩 △3同歩 △2五歩 △3二金 △2四歩 △同歩	△5四歩 △2六歩 △2五歩 △1四歩 △1四歩 △同歩 △同歩 △同歩 △同歩 △同歩 △同歩
A		△8五歩 △2四歩 △8六歩 △3四飛 △5八玉 △6二銀 △1六歩 △2五歩 △3六飛 △2六飛 △同歩	△7銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩
M		△8五歩 △2四歩 △1五歩 △3六飛 △2六飛 △同歩	△7銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩
L		△7五歩 △2四歩 △1五歩 △3六飛 △2六飛 △同歩	△7銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩
P		△8八歩 △8九歩成 (第3図)	△7銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩
N		△8八歩 △8六歩 △7八歩成☆ (第3図)	△7銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩
O		△7七桂 △6五桂 △7七歩 △6五桂 △7七歩 △同桂	△7銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩
Q	1一馬 (第4図)	△4一金 △4六桂 △6四歩 △3四桂 △5四香 △3三玉	△6六銀 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △2四角 △同歩

△二二香 同桂成 △三五歩
 ●三二成桂 □同玉 ●三五飛
 まで107手で加藤女王の勝ち。
 (消費時間 □二時間24分 △三時間0分)

◇陣屋決戦は難解な中盤戦

A ■3四飛 = 神奈川県秦野市「元湯・陣屋」での第1局は、上田が居飛車を採用しての横歩取りで開幕した。

B □5二玉 (第1図) = 最新形で現在もさまざまな工夫や新手が見られる。

C □5一金 = □2四飛と飛車交換をする狙いを重視した指し方も多いが、しっかりと閉う△5一金を選択した。

D □2三銀 = 実現性は低いが、1四歩□同歩 ■1二歩△同香 ■3三角成 □同桂 ■2二角の狙いを未然に防ぐ。ただし ■2四歩の味が出てくる。

E □3四銀 = □2四同銀は ■3三角成 □同金と形を乱されていけない。

F ■2八飛 = 後手の銀に近いので当たりを避けておく。この形では珍しい。

G □△三五角 (第2図) □▲4六歩を突かせ
ずに、△2四角と歩を取り切る意味。

H ■△2六歩 = 飛車を四段目で使う意味。

J □△1四香 = □△2六歩も有力。

K □△5五歩 = 玉頭を狙っていく。ただしこ
こは△4二金上から△8一飛と馬を捕獲し
ていけば後手が優勢に立てた。

L □△7五歩 = 大切な一手。飛車の横利きを
通しておけば、攻防に役立つ。

M ■△2四歩 = 窮屈な飛車を活用する。

N □△4二玉 = □▲5五銀△同飛 □△5六香を防
ぎつつ、金にヒモを付けた。

O ■△7七桂 (第3図) = □▲7四歩△同飛
△7五香が良かつた。

P □△8九歩成 = 敗手。

8五桂で難解だった。

Q ■△1一馬 (第4図) = 決め手。加藤が激
戦を制して先勝。

No.448

静岡県牧之原市「高尾山石雲院」	第8期 マイナビ女子オープン 第2局
平成27年4月18日	持ち時間 各3時間
終了17時28分	三段 上田 初美
勝 △女王 加藤 桃子	▲

中飛車その他の

【第1回は△4二金まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1
角歩	香	桂	金	金	銀	玉	歩	上田
歩	歩	銀	歩	歩	歩	歩	歩	八九
歩	歩	銀	歩	歩	歩	玉	玉	七
歩	歩	銀	歩	歩	歩	玉	玉	六
歩	歩	銀	歩	歩	歩	玉	玉	五
歩	歩	銀	歩	歩	歩	玉	玉	四
歩	歩	銀	歩	歩	歩	玉	玉	三
歩	歩	銀	歩	歩	歩	玉	玉	二
歩	歩	銀	歩	歩	歩	玉	玉	一
角歩	香	桂	金	金	銀	玉	玉	角歩

【第2図は▲4五歩まで】

【第3図は▲4八銀まで】

【投了図は△3八角まで】

△ 5 七銀	△ 同 金☆	△ 3 五角	△ 6 九角	Q △ 5 三角成
△ 3 五金	△ 4 二銀	△ 2 一角	△ 2 一角	△ 3 四金
△ 4 二銀	△ 7 一角	△ 2 一角	△ 2 一角	△ 4 同玉
△ 2 一角	△ 2 一角	△ 2 一角	△ 2 一角	△ 2 同玉
△ 2 一角				

△ 5 七銀	△ 3 九成銀	△ 3 三香成
△ 同 金☆	△ 6 二飛	△ 5 二香
△ 3 五角	△ 2 三玉	△ 3 六玉
△ 6 九角	△ 4 七桂	△ 4 七桂
△ 5 三角成	△ 同 香	△ 2 五金
△ 3 一飛	△ 3 四金	△ 同 飛
△ 3 五金	△ 同 飛	△ 同 玉
△ 3 四金	△ 4 六玉	△ 4 七角成
△ 同 玉	△ 3 八角	(投了図)
△ 同 玉	△ 3 八角	(投了図)
△ 3 時間0分	△ 3 時間0分	△ 3 時間0分

E □2四歩 || お互いに動きが難しい局面なので、陣形を崩さずに有効な手を指したい。
F ■4五歩 (第2図) || 後手は ■5六歩に何か対処をしないといけない。
G □3三角 || 予定変更。 □6五歩は先手の角筋が通るので自信が持てなかつた。
H ■9八番 || 角筋から避ける大切な一手。 I □5四歩 || 銀の退路を作つて均衡が取れ ていると判断した。
J ■5五歩 || □8九角を防ぐ ■5九飛では 消極的で良くない。
K □9八角成 || 馬も守りに使って後手良し。
L □2七歩 || このタイミングが良い。
M □5五銀 || 取られる銀の活用で優勢。
N □5三香 || □3五桂が分かりやすい。
O ■4八銀 (第3図) || 疑問。
らばまだまだ難解だった。
P □4九銀成 || 地味だが厳しい。 後手玉は 自陣飛車が利いていて寄らない。
Q □3一飛 || この飛車が使えては勝負あり。
加藤の2連勝となつた。

棋士名鑑

平成27年版アンケート

①身長・体重・血液型 ②座右の銘は？ ③この一年で読んだ本、観た映画でおススメは？ ④よく聞く音楽は？ ⑤子供の頃、苦手だった科目は？ ⑥最近の将棋界の話題で一番興味深いことは？ ⑦最近凝っているものは？ ⑧この一年で一番自分を褒めたいことは？ ⑨健康のために普段から心掛けていることは？ ⑩今年一年の目標は？ ⑪対局する上で心掛けていることは？ ⑫子どもの頃の得意戦法は？ ⑬この一年で詰将棋を何題解きましたか？ ⑭棋士を目指していなかつたらどんな職業に就いていたと思いますか？ ⑮愛用している、またはかつて愛用していた扇子は？ ⑯縁起を担ぎますか？それは何ですか？ ⑰一生お金に困らないとしたら何をしますか？ ⑯将棋に負けたあととの過ごし方は？ ⑯「思い出の対局」を教えてください ⑯HP、ブログのURL、ツイッターアカウント、携わっている将棋教室の情報など、告知されたい方はお教えください

【現役棋士】



175
名人
王位
棋聖
羽生 善治
永世名人
永世王座
永世棋王
永世王将
永世棋聖
名誉NHK杯選手権者

昭和45年9月27日、埼玉県所沢市に生まれ。57年、第7回小学生名人戦優勝。同年6月、6級で二上達也九段門。59年初段、12月、6級で二上達也九段門。59年初段、60年12月四段、史上3人目の中学生棋士に。

63年4月五段、平成元年10月六段、2年10月七段、5年4月八段、6年4月九段。

8年2月、第45期王将戦で史上初の七冠制覇。8年9月、第44期王座戦で連続5期獲得により「名誉王座」の資格を得る。9年8月、第38期王位戦で連続5期獲得により「永世王位」の資格を得る。11年2月、通算600勝(将棋栄誉賞)。13年3月、年間89対局、68勝(新記録)。15年3月、通算800勝(将棋栄誉戦闘賞)。17年10月、第53期王座戦で、同一タイトル14連覇の新記録。19年3月、第56期王将戦で通算10期獲得により「永世王将」の資格を得る。19年12月、通算1000勝(特別将棋栄誉賞)。史上最速、最年少(37歳3ヶ月)。20年6月、第66期名人戦で通算5期獲得により「永世名人(十九世名人)」の資格を得る。22年6月、通算1100勝。24年2月、第61回NHK杯戦で優勝。4連覇で通算10回目の優勝を果たし、「名誉NHK杯選手権者」の称号を得る。24年7月、第83期棋聖戦で、通算タイトル獲得数81期の歴代単独1位に。24年8月、通算1200勝。24年8月、第20回銀河戦で5度目の優勝。26年5月、第72期銀河戦で5度目の優勝。26年5月、第72期名人戦で8期目の名人を獲得、3度目の復位は史上初。11月、史上4人目の通算1300勝。27年2月、第8回朝日杯戦で4度目の優勝。

62年9月、第10回若獅子戦で棋戦初優勝。62年12月、第3回天王戦で全棋士参加棋戦初優勝。元年12月、第2期竜王戦で初挑戦でタイトル獲得。19歳3ヵ月でのタイトル獲得は当時史上最年少(現在は2位)。5年8月、第34期王位戦で史上最年少(22歳11ヵ月)の五冠。6年12月、第7期竜王戦で史上初の六冠。7年3月、第20期棋王戦で連続5期獲得により「永世棋王」の資格を得る。7年7月、第66期棋聖戦で通算5期獲得により「永世棋聖」の資格を得る。

6年2月、第45期王将戦で史上初の七冠制覇。8年3月、「内閣総理大臣顕彰」得により「名誉王座」の資格を得る。9年8月、第38期王位戦で連続5期獲得により「永世王位」の資格を得る。11年2月、通算600勝(将棋栄誉賞)。13年3月、年間89対局、68勝(新記録)。15年3月、通算800勝(将棋栄誉戦闘賞)。17年10月、第53期王座戦で、同一タイトル14連覇の新記録。19年3月、第56期王将戦で通算10期獲得により「永世王将」の資格を得る。19年12月、通算1000勝(特別将棋栄誉賞)。史上最速、最年少(37歳3ヶ月)。20年6月、第66期名人戦で通算5期獲得により「永世名人(十九世名人)」の資格を得る。22年6月、通算1100勝。24年2月、第61回NHK杯戦で優勝。4連覇で通算10回目の優勝を果たし、「名誉NHK杯選手権者」の称号を得る。24年7月、第83期棋聖戦で、通算タイトル獲得数81期の歴代単独1位に。24年8月、通算1200勝。24年8月、第20回銀河戦で5度目の優勝。26年5月、第72期名人戦で8期目の名人を獲得、3度目の復位は史上初。11月、史上4人目の通算1300勝。27年2月、第8回朝日杯戦で4度目の優勝。

タイトル戦登場は122回、獲得は竜王6、名人9、王位16、王座22、棋王13、王将12、棋聖13の合計91期。棋戦優勝は43回。竜王戦は1組(通算25期目、竜王含む)。順位戦は名人(A級以上連続23期目)。

「将棋大賞」は、最優秀棋士賞20回。他に記録部門四冠独占4回など多数。

【現役棋士】の掲載順は次の通り。

①竜王・名人 ※棋士番号順
②タイトル保持者
③永世・名誉称号有資格者
④前竜王・前名人
⑤段位順

※ 日本将棋連盟ホームページの棋士紹介に準じています。

各棋士の氏名の上の数字は「棋士番号」を示す。棋士番号とは、昭和52年4月1日付査定に基づく四段昇段の順番で、故金易一郎名譽九段を1番として301番の梶浦宏孝四段までが平成27年版の名鑑に掲載されている。平成27年6月15日現在。

260 竜王糸谷哲郎



昭和6年1月5日
成10年9月、6級で森信雄七段門。15年2
月初段、18年4月四段。20年5月五段、
年1月六段、26年9月七段、12月八段。
24

235 棋王 渡辺（わたなべ）明（あきら）（永世竜王）昭和9年4月3日、東京都葛飾区の生家



王座1期 棋王3期 王将2期の合計15期
棋戦優勝は9回。
竜王戦は2組（1組は通算10期、竜王含む）
眞理成（及川一郎）。

昭和46年3月17日、東
王将 郷田 真隆



明和4年、7年11月、更に大友昇九段門
れ。57年12月、6級で（故）大友昇九段門
60年5月初段、平成2年4月四段。4年10
月五段、7年11月六段、10年4月七段、11
年4月八段、13年8月九段。

(獎励会から)。21年9月、通算100勝。23年3月、第60回NHK杯戦で2期連続の準優勝。26年3月、第72期順位戦でB級2組昇級。5月、第27期竜王戦3組で優勝して21年11月 第33期新王座で相手名優勝

昭和5年4月2日 東京都葛飾区の生れ。平成6年、第19回小学生名人戦優勝。同年9月、6級で所司和晴七段門。9年10月初段、12年4月四段、史上4人目の中学生成棋士に。15年4月五段、16年10月六段、17年10月七段、同年11月八段、同年同月九段。

タイトル戦登場は1回。獲得は竜王1期
戦初挑戦。12月、第27期竜王戦で初タイト
ル獲得。

棋戦優勝は1回。
竜王戦は竜王（1組以上は1期目）。
頂立戦は3段2組（龍虎2月目）。

順位戦はE級2組（連続2期目）
「将棋大賞」は優秀棋士賞、新人賞、連
勝賞。

著書「現代将棋の思想」一手損角換わり
編」（マイナビ）
②不屈
③その孤島の名は、虚
④ロック・パ

ンク (5) 音楽・美術・図工 (6) 新棋戦 (8) タイ
トル奪取 (9) ストレス解消 (10) 防衛・挑戦 (11)
気持ちで負けない (12) 四間飛車 (13) 数えていま
せん (14) 文章書き (15) 升田先生「手眼」 (16) 余

ne.jp/kishi-akira

他に新人賞、最多対局賞など多数

鬪賞5回

○

り担がせん (17)奨学金の配布 (18)寝ます。 (19)
奖励会一次試験最終回 (20)Twitter @kansa
shog

棋士名
卷之三

年4月四段。

竜王戦は6組（第29期から参

女流棋士の氏名の上の数字は（女流棋士番号）を示す。これは女流棋士として日本将棋連盟が認定した順番

23年5月、奨励会1級に合格し、
編入を決める。24年5月、第23期

Twitter@MNO_shogi 囲遊棋公式
→→→→→→ <http://shogi.osaka/>

① 169cm、47kg、O型 順位戦はC級2組（1期目）。
② 勝って兜の

三國志



⑧四段になれたこと ⑨むしろ不健康な生活なので… ⑩勝ちまくる ⑪決断よく指す ⑫右玉 ⑬連盟モバイルのを入れれば300くらい ⑭プログラマーを目指していた ⑮安恵先生の「道一筋」 ⑯相がない ⑰豪遊している ⑱帰宅して悲しみに暮れる ⑲デビュー戦 ⑳特になし

33 女流名人
女流王位
里見 さとみ
香奈 かな

の五冠に。25年12月、女性として
初の奨励会三段昇段。26年2月、
第40期女流名人位戦で通算5期
獲得により「クイーン名人」の資
格を得る。26年3月より半年間休
場。復帰後の27年5月、第26期女
流王位戦でタイトル奪取。
タイトル戦登場は22回。獲得は
女王1、女流王座1、女流名人6

平成5年4月16日、東京都柏市に生まれ。17年、第37回女流名人戦優勝。18年、第38回女流アマ名人戦優勝。第27回中学生選抜選手権女子の部優勝。平成19年4月、女流育成会入会。20年10月、女流プロ2級、中村修九段門下。平成21年7月、女流1級。23年4月、成21年7月、女流1級。23年4月、

21 倉敷藤花 甲斐 智美 かいともみ
昭和58年5月30日、石川県七尾市
の生まれ。中原誠十六世名人門。
平成9年4月女流プロ2級。
10年4月1級。10年9月、奨励会
入会により女流棋界を休会。
15年5月、女流棋士登録を
廃止となり、引退。

A black and white portrait of a young man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

300
四段
根

宏孝

平成7年7月6日、東京都新宿区の生まれ。20年4月、6級で鈴木大介八段門。24年10月三段、27年4月四段。
竜王戦は6組（第29期から参加）。

順位戦はC級2組（1期目）。

① 166cm、45kg、A型
② ンタム」を破った男
③ 「黄金のバ
④ GReeeeN
⑤ 順位戦はC級2組（1期目）。

⑥ 166cm、45kg、A型
⑦ ンタム」を破った男
⑧ 「黄金のバ
⑨ 睡眠
⑩ 四間飛車
⑪ 家に帰る

市の生まれ。平成15年後期、女流育成会に入会。16年10月女流プロ1級、森雞二九段門。18年4月1級、19年2月初段。20年9月二段、21年4月三段、22年2月四段、23年10月五段。

19年1月、第2回きしろ杯優勝。19年2月、第20回レディースオープン準優勝。19年4月、第29期女流王将戦で挑戦者決定戦進出。19年9月、第15期丈敷藤花戦で挑戦者決定戦進出。20年11月、第16期丈敷藤花戦で初挑戦でタイトル獲得。16歳8ヵ月でのタイトル獲得は史上3番目の年少記録。22年2月、第36期女流名人位戦でタイトル奪取。22年10月、第32期女流王将戦でタイトル奪取。

賞5回、女流棋士賞2回、特別賞。
18年5月、「第15回 将棋クラブ賞」。19年3月、「島根県功労者表彰」。
著書「イナズマ流次の県文化活動特別奨励賞」。
題」(共著)、日東書院、「女流棋士賞」。
月、「島根県功労者表彰」。
著書「イナズマ流次の女流棋士賞」。
題」(共著)、日東書院、「女流棋士賞」。
倉敷藤花里見香奈」(双葉社)。
①162・5cm、A型 ③永遠
絢香 ⑨食事 ⑩対局でさ
感謝する ⑪最後まで盤上
ること

四国碁
、島根
22年3
名局賞
第一手200
流名人・
の〇 ④
ることに
に集中す

【タイトル】戦初登場、初タイトル獲得。26年11月、第41期女流名人獲得。
挑戦者決定戦進出。
タイトル戦登場は2回。獲得。
女流王将2期。

獲戦はは想音共看と期倉敷藤花戦でタイトル獲得し、22期女流王位戦でタイトル初防衛。25年6月、第24期女流王位戦でタイトル獲得。25年11月、第21期女流王位戦でタイトル獲得し、通算100勝。22年4月、第3期マイナビ女子オーブンで初タイトル獲得。22年6月、第21期女流王位戦でタイトルを獲得し二冠に。第22期女流王位戦でタイトル初登場。19年、第1回大和証券杯ネット将棋・女流最強戦優勝。20年2月、18年、第11回鹿島杯で棋戦初優勝。19年、第1期マイナビ女子オーブンでタイトル初登場。19年、第1回大和証券杯ネット将棋・女流最強戦優勝。



平成5年4月16日、東京都柏市に生まれ。17年、第37回女流マ名人戦優勝。18年、第38回女流アマ名人戦優勝。第27回中学生選抜選手権女子の部優勝。平成19年4月、女流育成会入会。20年11月、女流プロ2級。中村修九段門下。平成21年7月、女流1級。23年4月、12月、休場。24年11月初段、25年8月二段、25年10月三段。25年10月、第35期女流王将戦タイトル戦初登場、初タイトル獲得。26年11月、第41期女流名人戦挑戦者決定戦進出。タイトル戦登場は2回。獲得1期。女流王将2期。

「将棋大賞」は女流最多対局賞。女流棋士賞。

①157cm、B型 ②執念 ③映画「いのこし」 ④クラシック、ゲーム・音楽 ⑤家庭科（今でも…） ⑥動画 ⑦有・配信サービスとの関わり ⑧健康の大切さに気付けたこと ⑨緑黄色野菜 ⑩自分のやりたることをやる ⑪妥協しないこと ⑫四間飛車 ⑬ファンの方からの頂物。桜柄の扇子 ⑭将棋ゲーム・ブリ制作 ⑮詰将棋 ⑯アマ10級とき、現在の師匠との6枚落ち

21 倉敷藤花 甲斐 智美 ともみ
昭和58年5月30日、石川県七尾市に生まれ。中原誠十六世名人の門下。平成9年4月女流プロ2級。10年4月1級。10年9月、奨励会入会により女流棋界を休会。15年8月奨励会退会。15年9月、女流初段で復帰。18年9月二段、22年4月三段、23年6月四段。
18年、第11回鹿島杯で棋戦初優勝。19年、第1期マイナビ女子オーブンでタイトル戦初登場。19年、第1回大和証券杯ネット将棋・女流最強戦優勝。20年2月、通算100勝。22年4月、第3期マイナビ女子オーブンで初タイトル獲得。22年6月、第21期女流王位戦でタイトル獲得。25年6月、第24期女流王位戦でタイトル獲得。25年11月、第21期女流王位戦でタイトルを獲得し二冠に。第22期女流王位戦でタイトル初防衛。25年6月、第24期女流王位戦でタイトル獲得。25年11月、第21期女流王位戦でタイトルを獲得し二冠に。
「将棋大賞」は最優秀女流棋士の合計7期。棋戦優勝は2回。
2度目の二冠に。

平成27年版
将棋年鑑
2015



名人・王位・王座・棋聖
羽生善治



竜王
糸谷哲郎



棋王
渡辺明



王将
郷田真隆



女王・女流王座
加藤桃子



女流名人・女流王位
里見香奈



女流王将
香川愛生



倉敷藤花
甲斐智美